



山・里・海をめぐり、出会い、  
これからの医療を共に育む。



[文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業]

# 山里海医学共育プロジェクト

第2回全国フォーラム(2024.1.19)  
岡山・島根・香川・鳥取大学の事業報告



# 内容

01

事業概要

02

事業全体に関する進捗報告

03

プログラムごとの進捗報告

# 事業概要





令和4年度概算要求 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

## 多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築

複数診療分野の有機的結合による  
個別最適な学習内容を強く意識した  
「多地域共創型」医学教育モデル

共通の医療課題を持つ隣接4大学が  
自治体・団体等と強力な連携体を形成

地域に必要な医療を提供できる  
医療人材の持続的な養成体制の構築

岡山大学、島根大学、香川大学、鳥取大学

学生が輝く！日本海～瀬戸内海をまたぐ「学びのベルト」

4大学の強み×地域の特色  
＝ 唯一無二の教育拠点

ポストコロナ時代の  
新たな医師の養成

アクションプラン

県域を越えた地域医療連携教育  
オンデマンド教育コンテンツ等を  
駆使した新たな医学教育の実践  
地域医療の魅力発信

アウトプット

地域医療を志す人材の拡大  
総合診療医の育成  
地域卒卒業生の地域定着率100%

アウトカム

医師の地域偏在、診療科偏在の解消  
総合診療の実践・医療の質の担保

医療課題との連動

地域卒学生教育と地域医療ニーズを  
可視化する大学・自治体連携教育  
拠点の連動強化

普及・発展への  
将来展望

「多地域共創型」医学教育モデル導入  
のコンサルテーション体制整備  
全国の研修医や看護師等、医療人向け  
オンデマンド教材の拡充

日本医療の持続可能な発展に貢献

養成する人材像

ポストコロナ時代に地域が求める  
多彩な医療を提供できる医師

卒業後：フォローアップ研修

学年

6 多地域共創型医療  
実習プログラム

5 救急・災害  
総合診療  
感染症  
公衆衛生

4 マスター養成プログラム

3 地域医療フィールド  
リサーチプログラム

2 緩和ケア、全人的医療  
リーダー養成教育

1 地域医療 Early  
Exposure プログラム

e-ポートフォリオの活用による学びの強化

オンデマンドプログラムによる個別最適学習

教育プログラム全体の継続的改善

《総合診療》

《感染症》

《救急・災害》

《公衆衛生》

《離島・全人的医療》

地域医療  
共育共創コミュニティ

協力組織：各県自治体、地域医療支援センター、  
へき地医療支援機構、自治体病院協会、NPO、他

確実な事業推進体制の実現

高大連携

アンケート  
成績

外部評価委員会  
事業評価

事業レビュー

拠点間  
交流

主幹・連携校全体協議会

モニタリング・指導・助言など

改善要請  
改善報告

事業推進スピードと  
公平性・透明性の確保

外部との連携推進  
連外実  
携部習  
委員組  
会院等

事業推進委員会  
意思決定・事業推進  
地域医療  
共育推進オフィス

カリキュラム  
検討委員会  
教  
学  
面  
の  
統  
括  
管  
理

地域医療を志す人材への強い動機  
づけを促進する教育プログラム

## 事業説明動画

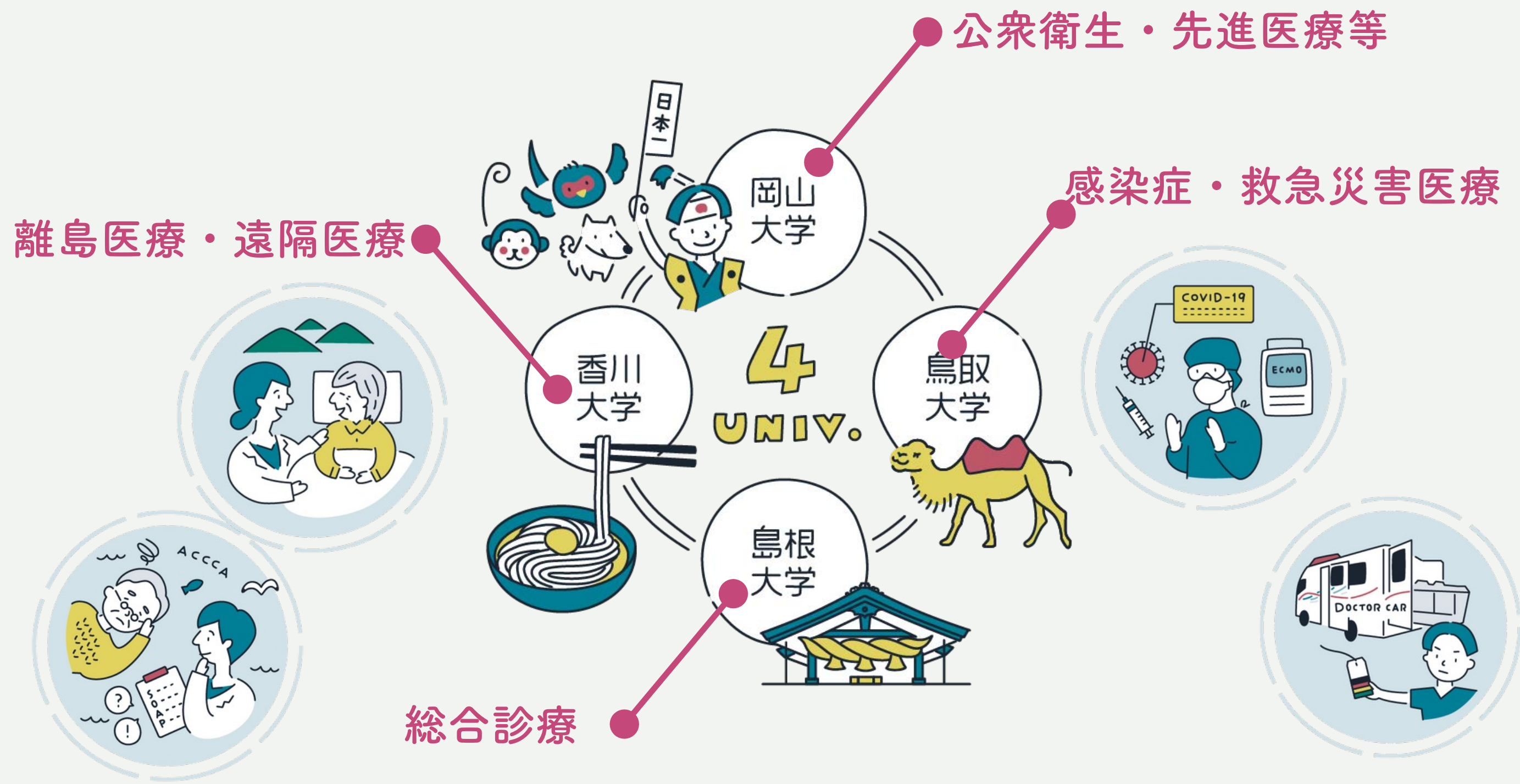


<https://postcorona.oumed.okayama-u.ac.jp/movie/136.html>



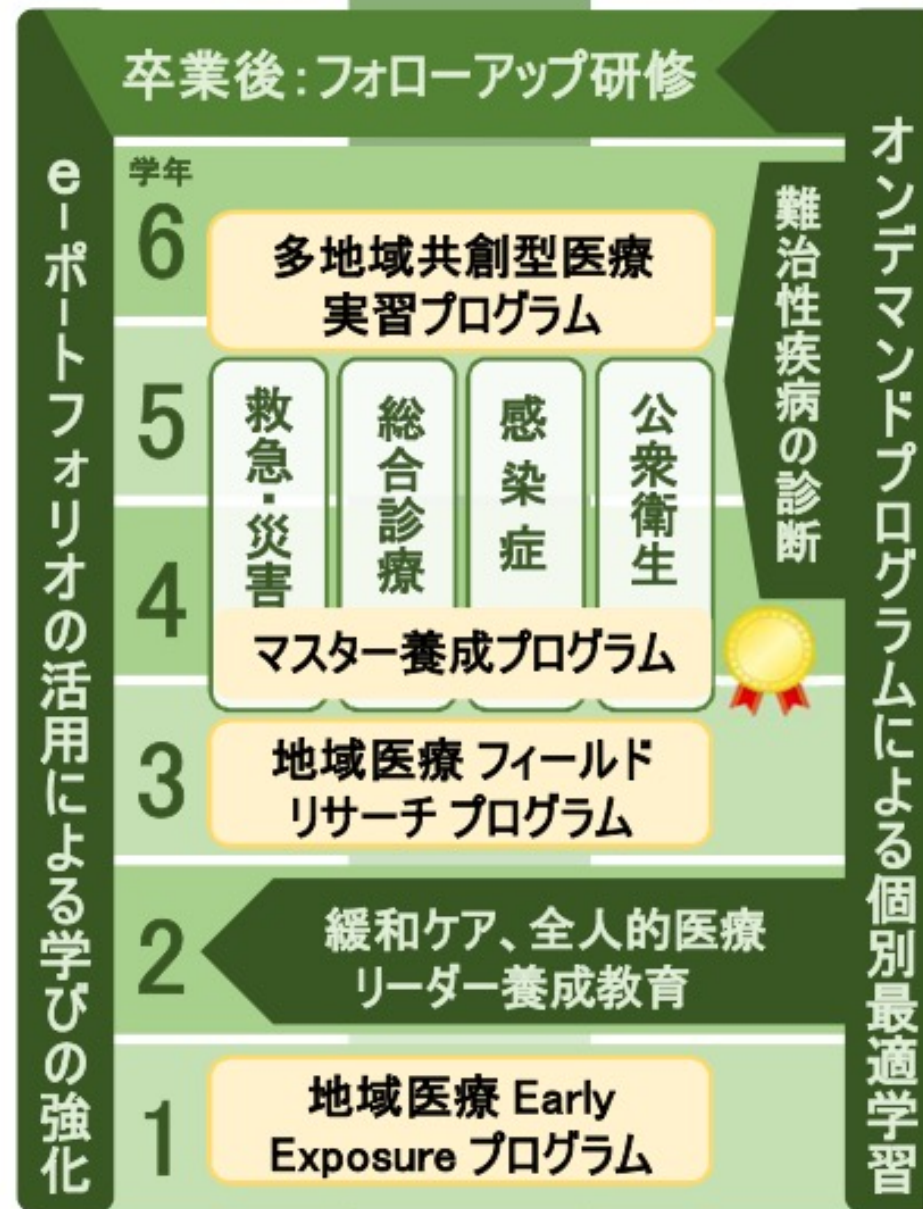
# 事業概要

岡山大学、島根大学、香川大学、鳥取大学が豊かな個性と強みを掛け合わせ、新たな「多地域共創型」医学教育の実施





養成する人材像  
ポストコロナ時代に地域が求める  
多彩な医療を提供できる医師



地域医療を志す人材への強い動機  
づけを促進する教育プログラム

## 地域医療プログラム

- Early Exposure プログラム (医療課題を**認識**)
- フィールドリサーチプログラム (医療課題を**考察**)
- 多地域共創型医療実習プログラム (地域医療を**実践**)

## 中心となる大学

- 岡山大学
- 香川大学
- 島根大学

## マスター養成プログラム

- 救急・災害医療学
- 総合診療学
- 感染症学
- 公衆衛生学

- 鳥取大学
- 島根大学
- 鳥取大学
- 岡山大学

## オンデマンド教育プログラム

- 緩和ケア／全人的医療教育プログラム
- リーダー養成教育プログラム

- 香川大学
- 岡山大学

eポートフォリオ活用による学びの強化  
高大連携と卒後フォローアッププログラム



## 運営体制

### 外部評価委員会

アンケート  
成績

事業評価

回答

事業  
レビュー

### 主幹・連携校全体協議会

モニタリング・  
指導・助言など

改善要請

改善報告

事業推進スピードと  
公平性・透明性の確保

### 事業推進委員会

意思決定・事業推進

地域医療

共育推進オフィス

カリキュラム  
検討委員会

統括管理  
教学面の

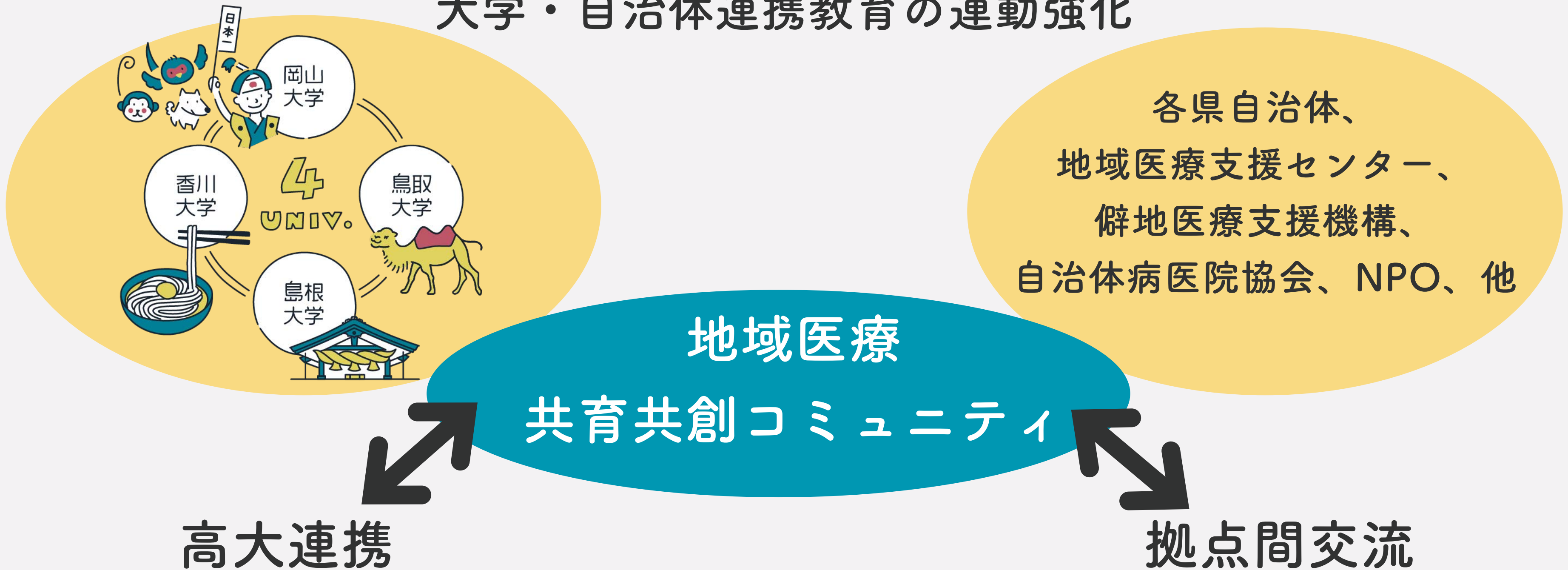
実習病院等  
外部組織連携  
委員会

外部との  
連携推進



共通の医療課題をもつ隣接4大学が  
自治体・団体等との強力な連携体を形成

学生教育と地域医療ニーズを可視化する  
大学・自治体連携教育の連動強化





# 事業概要

## 目標

それぞれの地域ならではの医療課題を個別最適に学習・体験することで、地域が求める医療を提供できる医師を養成

## 事業

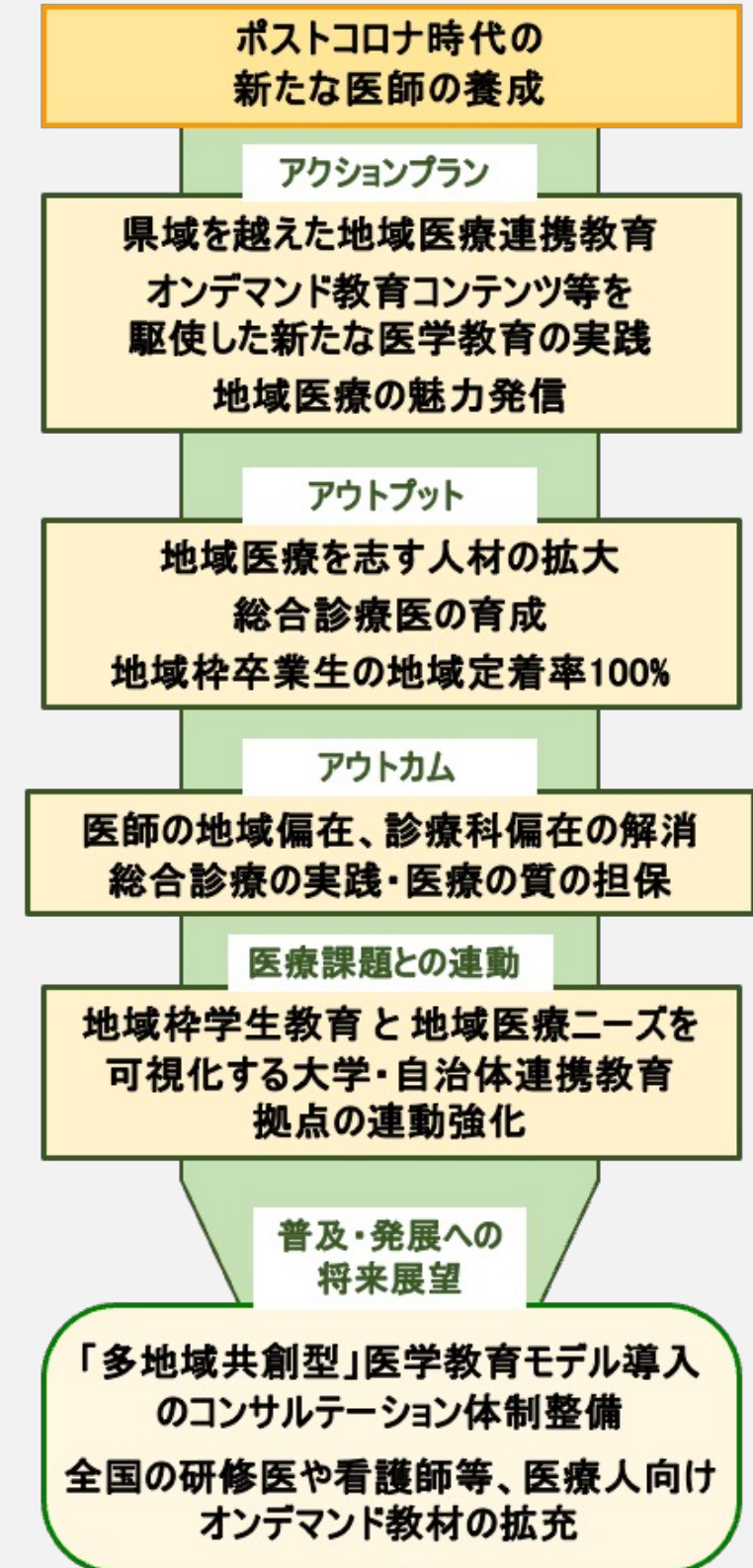
岡山大学、島根大学、香川大学、鳥取大学が豊かな個性と強みを掛け合わせ、新たな「多地域共創型」医学教育の実施

## 構想

地域医療現場での体験、教育プログラムを通して繋がり、成長し、光り輝く、唯一無二の医療人教育拠点の構築

多くの医療課題を共有する4大学が相乗的に連携協働することで今後の地域医療が求める優れた医師の養成

地域に必要な医療を提供できる  
医療人材の持続的な養成体制の構築



日本医療の持続可能な発展に貢献



# 学生が輝く！日本海～瀬戸内海をまたぐ「学びのベルト」





# 事業全体に関する進捗報告





# 事業全体に関する進捗報告

## キックオフシンポジウム



大学医学部関係者、地域医療に携わる医師、医学部生、  
近隣の県庁関係者、他拠点関係者など111人  
(会場参加66人、オンライン参加45人)が参加

## 高校生向け地域医療説明会



8月4日にYouTubeLive配信で高校生向けに4大学合同で地域枠・  
地域医療合同説明会を開催し、リアルタイムで182人が視聴

## 2020年度

9

事業開始

事業推進委員会設置

事業全体の意思決定や推進を進める事業推進委員会を  
設置し、10月、12月、1月に委員会を開催

11

1

岡山大学地域医療共育推進オフィス専任教員着任

3

各委員会の開催

カリキュラム検討委員会、実習病院等外部組織連携委員会、  
主幹・連携校全体協議会、外部評価委員会

## 2023年度

## オフィス教員合同ミーティング

4



4月より鳥取大学、香川大学の地域医療共育推進オフィスに  
専任教員が着任

6

8

各委員会・定例会の実施

大学間の実習病院協力に関する協定書の話し合い等



## 2023年度

# 11 成果報告シンポジウム 多地域共創型医学教育シンポジウム in 島根

文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」選定  
多地域共創型医学教育シンポジウム in 島根

地域医療を話し合おう  
でつながろう  
の学びを深めよう

ハイブリッド開催

2023年11月17日(金)13:30~17:00

会場：島根大学医学部 臨床大講堂（出雲市塩治町89-1）  
対象：大学教職員、大学生、医療機関の皆様、本事業に関心のある方等  
参加費：無料  
申込み：事前申し込みが必要です  
○現地（大学事業関係者・医学生等）  
○オンライン（市民・関心のある方）

**第1部 特別講演 14:00~14:50**  
「地域医療めっちゃおもしろいよん!」  
隠岐島前病院参与 しまね総合診療センター長 **白石 吉彦 氏** SHIRAIISHI Yoshihiko  
(略歴) 1992年 自治医科大学卒業  
2014年 第2回日本医師会赤ひげ大賞受賞  
2021年 日本プライマリ・ケア連合学会第14回田坂賞受賞  
離島発 いますぐ使える!外来診療小ワザ離れワザ(2014年中山書店)他著書多数

**第2部 本事業紹介と成果/医学生実践報告 15:00~16:50**

<事業成果報告> 岡山大学地域医療共育推進オフィス特任准教授 香田 将英  
島根大学地域医療支援学講座教授 佐野 千晶  
香川大学地域医療共育推進オフィス特命教授 駒澤 伸泰  
鳥取大学地域医療共育推進室特命教授 中野 俊也

<学生発表> 「実習の学び・楽しさ・発見」

申込方法：会場・オンライン参加共に事前申込制です  
申込締切り 2023年11月13日(月)17時

お問合せ：島根大学医学部 地域医療支援学講座 0853-20-2558  
ポストコロナ事業担当 0853-20-2088 <https://bit.ly/3XEP10Y>

主催：多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築  
(山里海医学共育プロジェクト) シンポジウム事務局





第一部は、隠岐島前病院参与・しまね総合診療センター長白石吉彦氏による特別講演。  
第二部は、事業成果報告、医学生実践報告。

医学部生、大学医学部関係者、自治体などの関係機関、他拠点関係者など225名  
(対面160名【内、島根大学医学生120名】、オンライン参加65名)が参加。





岡山大学 島根大学  
香川大学 鳥取大学 による

Youtube  
配信!

## 高校生向け 地域枠・地域医療 合同説明会

開催日 2023年8月4日(金)  
13時～14時30分

「"地域医療"ってよく聞けれど、  
自分の地域はどんなものなんだろう？」  
「大学に入ったらどんなことが学べるの？」  
今回、高校生の皆様向けに地域医療の魅力をご紹介します。

【対象】  
高校生、家族、教員、興味のある方  
【参加費】  
無料  
【申し込み】  
<https://bit.ly/3JLOdII>  
8月3日(木)20時までにお申し込みください  
【問合せ】  
申し込みHPよりお問い合わせください  
【主催】  
山里海医学共育プロジェクト

## 高校生向け地域枠・地域医療合同説明会

- ・2023年8月4日にYouTubeLive配信で高校生向けに4大学合同で地域枠・地域医療合同説明会を開催した。
- ・リアルタイムで182人が視聴、参加者は高校1～3年生が中心で、3年生が約7割であった。
- ・アーカイブ動画は387回再生(2023.12月時点)。
- ・医学生の話をもっと直接聞きたい、体験をしたい等というように、対面でのイベントを希望している参加者の声もみられた。



アーカイブ動画

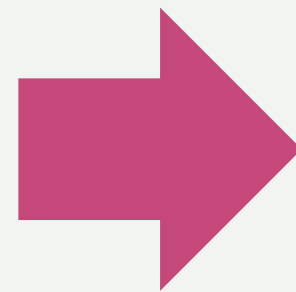






## 4大学 地域枠学生 に対するアンケート

- 2023年7月20日～8月20日に、4大学の地域枠学生に対して、学生から広く本事業に関する期待や希望等についてアンケートを行った。
- 各大学の学生 計104名 から回答があり、「各大学の地域医療教育について知りたい」「オンサイトでの学びの機会が欲しい」「交流会その他の場が欲しい」等の希望の声が寄せられた。



現在eポートフォリオシステムと併せて、  
オンライン上のプラットフォームを作成中

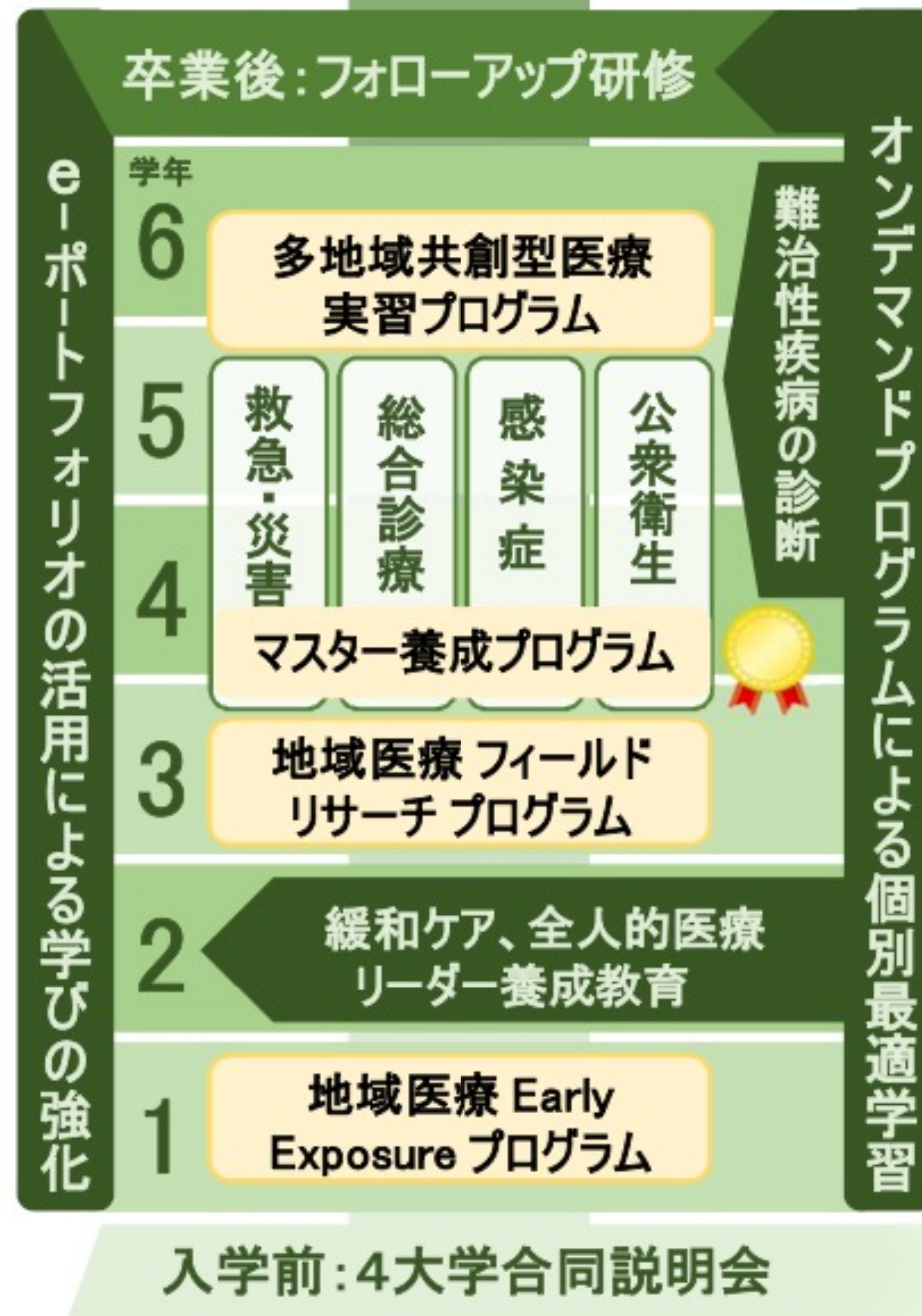


# プログラムごとの事業報告





養成する人材像  
ポストコロナ時代に地域が求める  
多彩な医療を提供できる医師



## 地域医療プログラム

- Early Exposure プログラム（医療課題を**認識**）
- フィールドリサーチプログラム（医療課題を**考察**）
- 多地域共創型医療実習プログラム（地域医療を**実践**）

中心となる大学

- 岡山大学
- 香川大学
- 島根大学

## マスター養成プログラム

- 救急・災害医療学
- 総合診療学
- 感染症学
- 公衆衛生学

- 鳥取大学
- 島根大学
- 鳥取大学
- 岡山大学

## オンデマンド教育プログラム

- 緩和ケア／全人的医療教育プログラム
- リーダー養成教育プログラム

- 香川大学
- 岡山大学

eポートフォリオ活用による学びの強化  
高大連携と卒後フォローアッププログラム



# プログラムごとの事業報告（岡山大学）





地域で医療を楽しもう

## 第15回 地域医療シンポジウム



**日時**  
2023 13:00~16:00  
11/14 [Tue]

**プログラム**  
開会挨拶  
第1部 実習概要  
第2部 地域医療の魅力  
第3部 医療にかかわる人々  
第4部 地域医療における医師の役割  
第5部 病院外での医療  
第6部 地域医療実習での学び  
講評・閉会挨拶

**会場**  
MUSCUT CUBE 3階  
(岡山大学鹿田キャンパス内)  
ハイブリッド開催

**お問い合わせ先**  
地域医療人材育成講座

**主催**  
岡山大学医学部医学科1年生(実習参加者)  
地域医療人材育成講座  
山里海医学共育プロジェクト

## 地域医療 Early Exposure プログラム

### 1年生を対象とした地域医療実習

各地域で超高齢社会において変化し続ける医療の現状とその課題を正しく認識し、地域において求められる医師像を自らのキャリアに投影しつつ学び成長する。

実習参加者： 2022年度 53名、2023年度 46名

2023年11月14日(火)

地域医療シンポジウム：学生現地 92名、教員現地 8名、オンライン 17名

地域医療指導医講習会：教員現地 4名、オンライン 18名



地域医療を活かした  
学びとは？  
実践コミュニティの  
特性から考える。

2023  
11.14

第9回  
地域医療を教えるための  
指導医講習会

【日時】2023年11月14日(火) 16:30~18:30  
【開催方法】対面+ONLINE (ハイブリッド開催)  
【会場】マスカットキューブ3階  
【内容】第1部：講演、第2部：意見交換会  
【対象】地域医療実習指導医  
【申込方法】WEBフォームからお申し込みください

【講師】  
自治医科大学医学教育センター  
副センター長/教授  
松山 豊 先生

【主催】岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座  
岡山地域医療文化センター岡山大学文部  
科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業  
山里海医学共育プロジェクト

WEB申込  
https://form.sluu.ac.jp  
0122882x34

Mail: chmc@shyama-u.ac.jp

※写真・実見してイメージとしてください





## 公衆衛生学マスター養成プログラム

コミュニティの一員、共同体として、疾病を予防し、健康増進をはかり、生活の質を高く長く保つための役割を担える人材の育成

選択臨床実習：2022年度 1名、2023年度(現時点) 3名

フィールドワーク：2023年度 11名(フィールドワーク実習)

選択臨床実習：

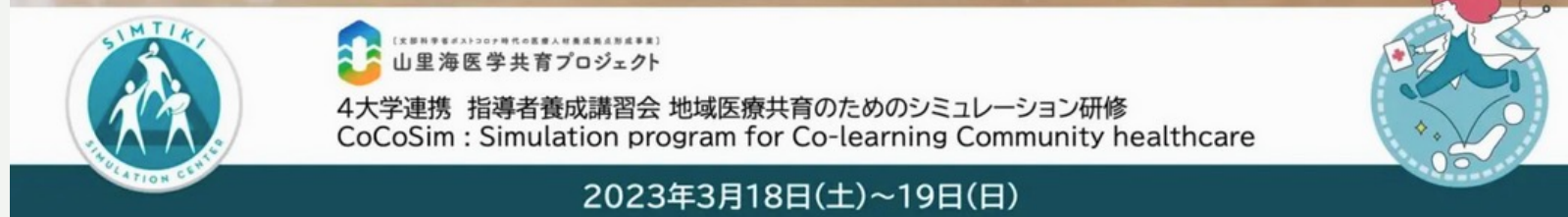
- 5、6年生の選択臨床実習の中で実施
- 岡山県内の保健所を中心に実習プログラムを作成し、
- 連携大学に広げるためのプログラムを検討中

フィールドワーク：

2023年11月4日（日）に国立療養所長島愛生園を訪問し、フィールドワークを実施。







## リーダー養成教育プログラム

医療シミュレーションを通して  
包括的リーダーシップ、Co-learning手法について学ぶ  
指導者養成講習会の開発・実施

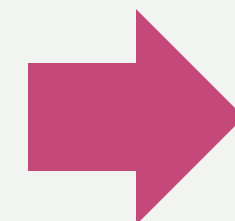
2022年度: 参加者 15名 講師 16名

2023年度: 参加者 13名 講師 14名 学生フェロー 3名

参加者・講師所属:

岡山大学、島根大学、香川大学、鳥取大学  
自治医医科大学、琉球大学、慈恵医科大学、東京女子医科大学、  
岐阜大学、ハワイ大学

岡山大学教育推進機構学習・教授支援部門、ハワイ大学との協働で、  
「共育」Co-learningと、社会的スキルとして重要な  
「包括的リーダーシップ」を学習できるコースとして設計



オンデマンドコンテンツを開発・準備中





## VRやMRを活用した教育の開発

次世代マルチモーダルケア技術「ユマニチュード」教育  
HEARTS (Humanitude AR Training System) の導入

岡山大学ヘルスシステム統合科学研究科インタフェースシステム学分野  
と協働して、全人的医療教育プログラムのパイロット事業として岡山大学  
の老年看護学実習の中で HEARTS (Humanitude Augmented Reality  
Training System) を使用した実習を実施。

岡山大学ヘルスシステム統合科学研究科主催セミナー  
**優しさが伝わるケア  
ユマニチュードを知ろう**

ユマニチュード  
「人間らしさを取り戻す」という意味をもつフランスの造語であり、「あなたのことを大切に思っています」というメッセージを相手理解できる方法で伝えます

ARデバイスを使ったユマニチュードスキルトレーニング体験ができます  
医療職以外の方も、ご関心をお持ちの方はぜひご参加ください！

参加費無料  
**180名**様  
要事前申込  
先着順

【対象】▶▶ 医療介護職、一般の方々  
【日時】▶▶ 9月30日(土) 14:00~15:30  
【会場】▶▶ 岡山大学津島キャンパス工学部5号館  
第15講義室  
岡山市北区津島中3丁目1番1号

第1部 講演  
「ユマニチュードを知ろう」  
● ユマニチュードとは  
● ユマニチュードをいたケア  
● 質疑応答

講師: 森山由香  
ユマニチュード  
チームインストラクター  
(社会福祉士 岡山県  
小規模多機能居宅介護事業所  
SHIRAKI 課 管理者)

第2部 講演  
「ユマニチュード教育最前線  
-デジタル技術を用いた学習支援-」  
● 拡張現実 (AR) の中で  
ユマニチュードの基本的スキル  
「見る、触れる、話す」を学ぶ  
● 質疑応答

講師: 中澤 篤志  
(岡山大学ヘルスシステム  
統合科学研究科 教授)

主催: 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科  
共催: 日本ユマニチュード学会、岡山大学大学院医歯薬学  
総合研究科地域医療推進推進オフィス

フォームからお申し込みください  
<https://www.gishs.okayama-u.ac.jp/social/koenkaiouka/program/>  
<https://forms.office.com/r/czNH8Bwcr>

〔文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業〕  
山里海医学共育プロジェクト

ハンズオン  
実演あり

VR、MRを活用した  
地域医療教育とデジタルツール

VR (仮想現実) を使った医療教育では、現実に近い環境で、様々なシミュレーションやトレーニングができることが特徴です。MRはVRとAR (拡張現実) を組み合わせた技術で、現実世界に仮想的な要素を組み合わせることができます。今回、認知症を持つ方や高齢者のケアで有効と考えられている「ユマニチュード」のVR、MR教育について、実際に体験しながら学べる機会を準備しました。興味のある方はぜひご参加下さい。

対象:  
地域医療とデジタルツールに興味のある医学生、医師  
日時:  
2023年3月29日  
15時00分 ~ 15時40分 「地域医療とデジタルツールの活用」  
15時40分 ~ 17時00分 現地のみハンズオン実演  
会場:  
ハイブリッド開催  
現地 岡山大学地域医療人材育成センター MUSCAT CUBE 3階 会議室

定員: 現地 40名、オンライン 100名  
参加費: 無料  
申し込み: <https://forms.office.com/r/ZAgpYyjn67>  
お問い合わせ: [poscoro@okayama-u.ac.jp](mailto:poscoro@okayama-u.ac.jp)  
主催: 地域医療共育推進オフィス、地域医療人材育成講座

本研修は、文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業  
「多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ『多地域創型』医学教育拠点の構築」の一環で行います。

HEARTS :  
HoloLens 2 を用いて 拡張現実 (AR) の中で、「見る、触れる、話す」  
スキルを包括的に学習できるユマニチュード訓練システム。

- 共催でユマニチュードに関するセミナーを実施
- 主催でVR、MRを活用した地域医療教育に関するセミナーを実施



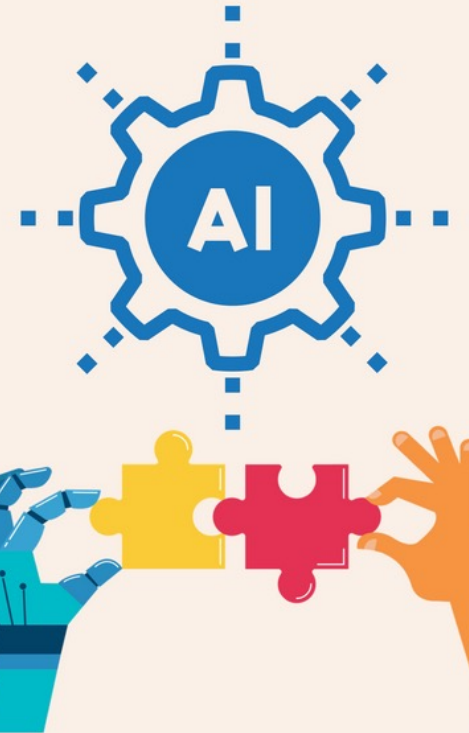
岡山大学医学部主催DXセミナー

## 医学・保健分野の 教育研究における 生成AIの活用

最近、大学での学びや研究が、AIの力を借りてどんどん進化しているんです。学問の質をさらに高めたいとき、AIという頭のいいツールが大活躍してくれるんですよ。

今回は、AIをもっと上手に使うコツと一緒に学びましょう。そして、どうやったら授業や研究にうまく取り入れられるか、考えてみませんか？ 特に医学や保健の世界では、AIのおかげで新しい発見がいっぱいできそうです。そんなワクワクする未来に向けて、一緒に知識を深めていきましょう。

(文責:ChatGPT)



**日時** 2024/1/5 (金)  
17:30 - 19:10  
開場 17:00

**場所** 岡山大学  
鹿田キャンパス  
鹿田会館 講堂  
(ハイブリッド開催)

現地会場では**模擬AI患者**デモ体験も予定しています。

**次第** 17:30 開会挨拶 廣畑聡 | 保健学研究科長  
17:40 基調講演  
講師  
「日常業務における生成AIの活用」 松井健太郎 | 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部  
「教育研究における生成AIの活用」 吉田和生 | 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門  
「生成AIを主軸に据えた”新奇的”研究と社会実装」 宋龍平 | 岡山県精神科医療センター臨床研究部  
座長 香田将英 | 地域医療共育推進オフィス特任准教授  
18:45 総合討論  
登壇者  
阿部匡伸 | 岡山大学理事(DX & GX担当)・席副学長  
廣畑聡 | 保健学研究科長  
豊岡伸一 | 医学部長  
松井健太郎 | 国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部  
吉田和生 | 慶應義塾大学病院臨床研究推進センター教育研修部門  
宋龍平 | 岡山県精神科医療センター臨床研究部  
19:00 閉会挨拶 阿部匡伸 | 岡山大学理事(DX & GX担当)・席副学長

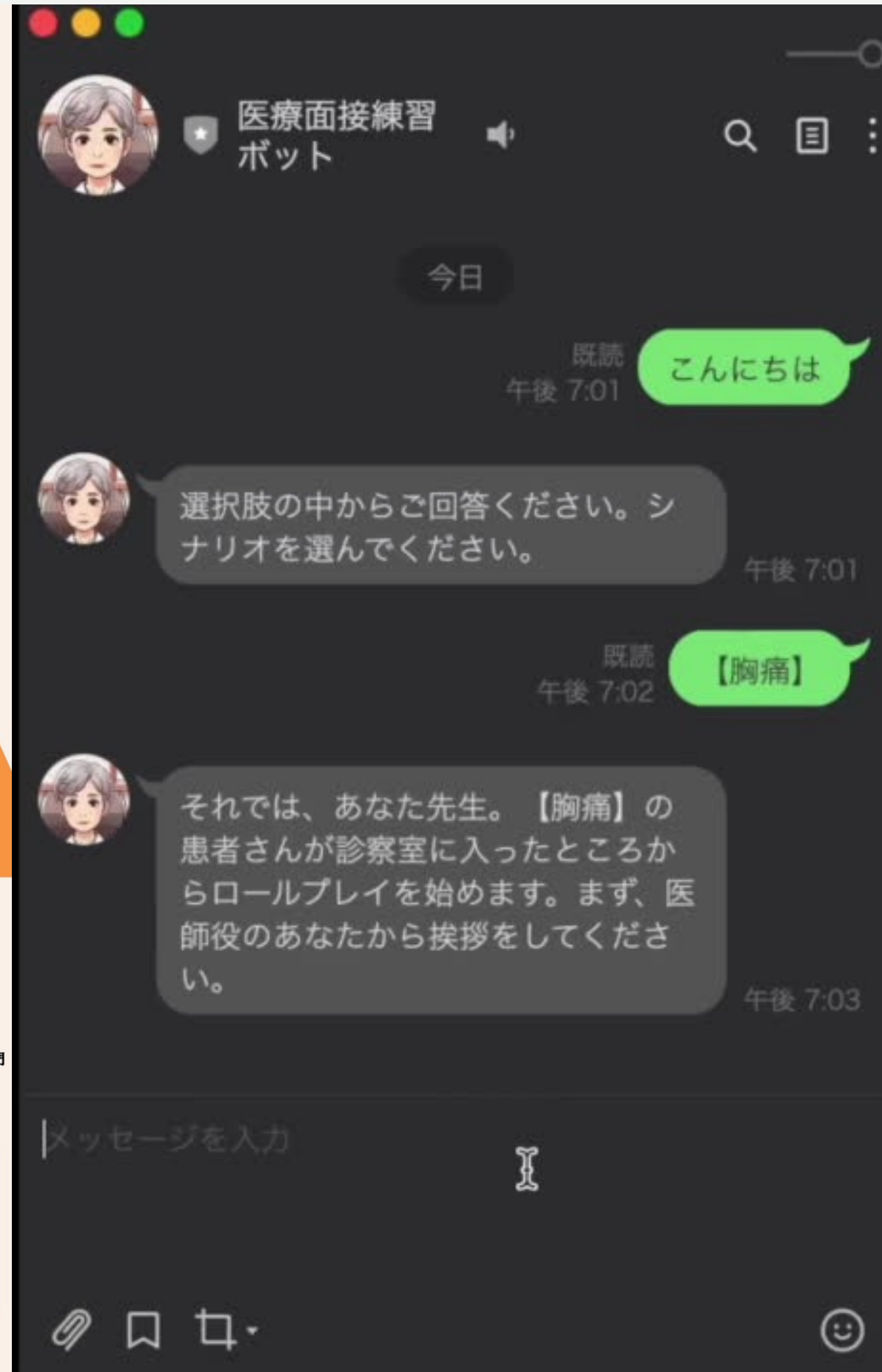
主催:岡山大学医学部  
共催:医歯薬学総合研究科、保健学研究科、地域医療共育推進オフィス

事前申込み



締切

1/5(金)10時まで



## 生成AIを活用した 教育の開発

### AI支援型医療面接練習システムの開発

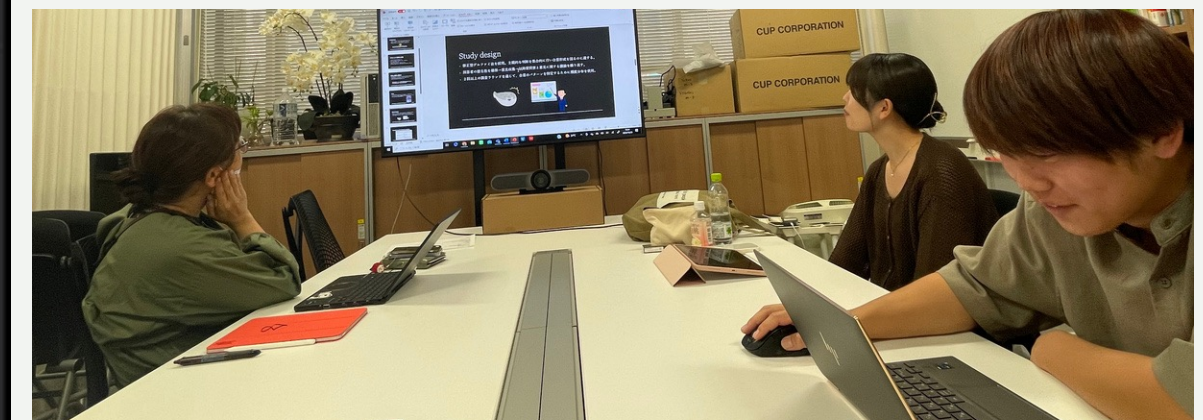
いつ・どこにいても、医療面接の練習ができるAI支援型医療面接練習を開発。

(OpenAI社のGPT-4-Turboを使用)

医療面接のロールプレイだけでなく、

対話のやり取りを評価してフィードバックすることで、効率的・効果的な自己学習が可能。

- ・低学年の地域医療実習前のコミュニケーションスキルの習得、不安の解消
- ・中～高学年の地域医療実践における医療面接技術の自己学習に使用





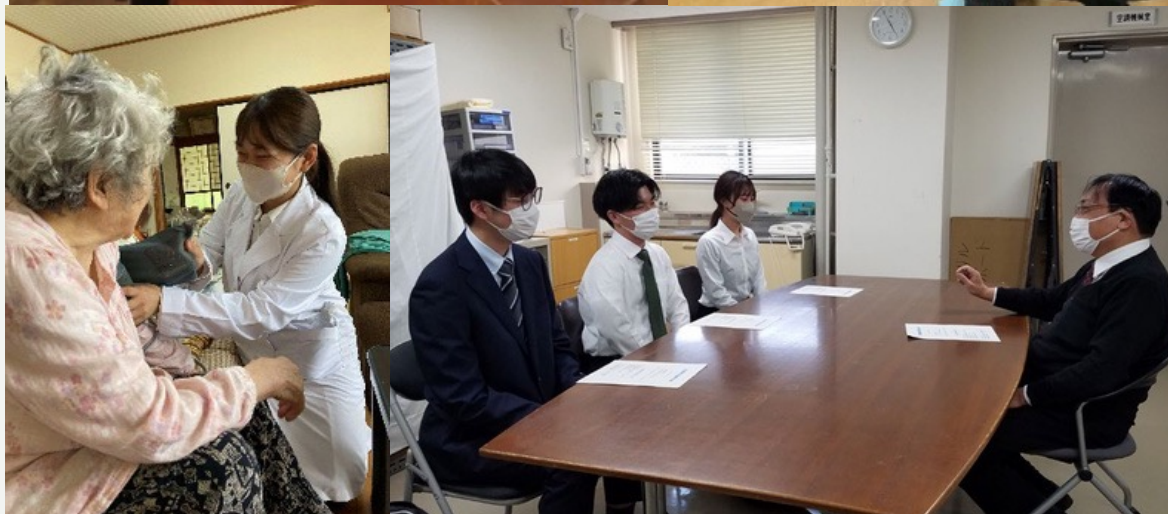
# プログラムごとの事業報告（島根大学）











## 夏季・春季地域医療実習/フレキシブル地域医療実習

### 夏季・春季地域医療実習

### 夏季・春季地域医療実習

- ・ 圏域の医療資源を見渡す実習：  
保健所立案、診療所実習、地域包括ケア実習等
- ・ 他大学医学部でも出雲からの旅費宿泊費制度あり
- ・ 2023年夏季実習参加学生：  
島根大学、鳥取大学、筑波大学、長崎大学、  
自治医科大学、千葉大学
- ・ オリエンテーション・報告会は全てオンライン



<https://www.communityshimane.jp/student/199>

### フレキシブル地域医療実習

### フレキシブル地域医療実習

- ・ 自分の「やりたい」をカスタムに企画
- ・ 本事業によるフィールド拡充

#### 2023年度県外実習

|          |         |    |
|----------|---------|----|
| - 岡山県新見市 | 哲西診療所   | 5名 |
| - 香川県小豆郡 | 小豆島中央病院 | 2名 |
| - 鳥取県日野郡 | 日南病院    | 3名 |



<https://www.communityshimane.jp/student/219>



# プログラムごとの事業報告（香川大学）







## 地域医療実習での学び

医学生達が使命と地域での役割を省察しながら  
臨床現場で自信をもって活躍するための取り組み

選択臨床実習（5～6年生）で地域医療1クールが必須

- ・坂出巡回診療（坂出市立病院）
- ・綾上診療所 など

事前に学修項目を自己確認して実習に臨む

例)

- ①島で今増加している病気と対処法
- ②島での巡回診療の役割
- ③緊急性の高いものはどうしているのか
- ④病気以外の問題（投薬管理・入浴管理など）をどのようにして  
行い医師のもとに情報が共有されているのか
- ⑤巡回診療を地元の人はどういう感覚で利用しているのか



|   |  |  |
|---|--|--|
| <b>第1回香大医学部医学科キャリアデザインセミナー</b><br>～卒業後の進路・専門をみんなで考えよう～<br>主催：地域医療共育推進オフィス<br>地域医療教育支援センター<br>医学部教育センター  | <b>第2回香大医学部医学科キャリアデザインセミナー</b><br>～卒業後の進路・専門をみんなで考えよう～<br>主催：地域医療共育推進オフィス<br>地域医療教育支援センター<br>医学部教育センター   | <b>第3回香大医学部医学科キャリアデザインセミナー</b><br>～卒業後の進路・専門をみんなで考えよう～<br>主催：地域医療共育推進オフィス<br>地域医療教育支援センター<br>医学部教育センター   |
| 日時：2023年5月17日（水）18:00～19:00<br>場所：臨床講義棟2階<br>対象：香川大学医学部医学科全学年対象<br>(地域枠学生さんには特に推奨します)<br>第1回テーマ：遊覧する社会・医療構造の中でキャリアデザインの意義<br>～我々はどうすれば最も地域貢献ができるのか～<br>【前半で地域医療共育推進オフィスの物澤からキャリアデザインの必要性について提示し、後半では学生の皆さんと積極的な意見交換をしたいと思います】<br>【セミナーの目的】<br>現在の、医学教育においては、卒前卒後の乖離が、全国的な問題です。すなわち、医学生にとっては、医学部卒業と初期臨床研修先の2つにどうして目が行ってしまい、本当に大切なことを考える機会が少ないのです。<br>① 卒後3年目以降の専門研修をどうするか？<br>② 医学部卒業者の約半数が進む大学院と医学博士って必要か？<br>③ 医療における専門性と総合診療は両立はどうか？<br>④ 医師としての最終的な到達地点はどこか？<br>⑤ 医師としてのワークライフバランス<br>について、医学生と教員が話し合うセミナーを定期開催し、皆さんの「医師人生計画」すなわち、キャリアデザインについて考えてほしいのです。<br>このセミナーは、学生達と医学部教員が合同で計画し、施行するものです。企画内容に至るまで医学生のニーズに合わせて進めたいと思います | 日時：2023年10月4日（水）18:00～19:00<br>場所：臨床講義棟2階<br>対象：香川大学医学部医学科全学年対象<br>(地域枠学生さんには特に推奨します)<br>第2回テーマ：日本専門医機構による新専門医制度を考えよう！<br>【前半で地域医療共育推進オフィスの物澤から「現在の専門医制度」について提示し、後半では学生の皆さんと積極的な意見交換をしたいと思います】<br>【セミナーの目的】<br>現在の、医学教育においては、卒前卒後の乖離が、全国的な問題です。すなわち、医学生にとっては、医学部卒業と初期臨床研修先の2つにどうして目が行ってしまい、本当に大切なことを考える機会が少ないのです。<br>① 卒後3年目以降の専門研修をどうするか？<br>② 医学部卒業者の約半数が進む大学院と医学博士って必要か？<br>③ 医療における専門性と総合診療は両立はどうか？<br>④ 医師としての最終的な到達地点はどこか？<br>⑤ 医師としてのワークライフバランス<br>について、医学生と教員が話し合うセミナーを定期開催し、皆さんの「医師人生計画」すなわち、キャリアデザインについて考えてほしいのです。<br>このセミナーは、学生達と医学部教員が合同で計画し、施行するものです。企画内容に至るまで医学生のニーズに合わせて進めたいと思います | 日時：2023年12月6日（水）17:30～18:30<br>場所：臨床講義棟2階<br>対象：香川大学医学部医学科全学年対象<br>(地域枠学生さんには特に推奨します)<br>第3回テーマ：「医学博士」を取得する意義について考えよう！<br>【前半で地域医療共育推進オフィスの物澤と医学教育学講座の横平教授から医学博士の意義について提示し、後半では学生の皆さんと積極的な意見交換をしたいと思います】<br>【セミナーの目的】<br>現在の、医学教育においては、卒前卒後の乖離が、全国的な問題です。すなわち、医学生にとっては、医学部卒業と初期臨床研修先の2つにどうして目が行ってしまい、本当に大切なことを考える機会が少ないのです。<br>① 卒後3年目以降の専門研修をどうするか？<br>② 医学部卒業者の約半数が進む大学院と医学博士って必要か？<br>③ 医療における専門性と総合診療は両立はどうか？<br>④ 医師としての最終的な到達地点はどこか？<br>⑤ 医師としてのワークライフバランス<br>について、医学生と教員が話し合うセミナーを定期開催し、皆さんの「医師人生計画」すなわち、キャリアデザインについて考えてほしいのです。<br>このセミナーは、学生達と医学部教員が合同で計画し、施行するものです。企画内容に至るまで医学生のニーズに合わせて進めたいと思います |
|  <p>私たち医師は過去の医学生でした。<br/>君達医学生は未来の「医師」かつ「教育者」です！<br/>共に考え、地域医療を育てましょう！</p>   |  <p>私たち医師は過去の医学生でした。<br/>君達医学生は未来の「医師」かつ「教育者」です！<br/>共に考え、地域医療を育てましょう！</p>  |  <p>私たち医師は過去の医学生でした。<br/>君達医学生は未来の「医師」かつ「教育者」です！<br/>共に考え、地域医療を育てましょう！</p>  |
| 問い合わせ先：地域医療共育推進オフィス 駒澤伸幸<br>(komasawa.nobuyasu@kagawa-u.ac.jp)  | 問い合わせ先：地域医療共育推進オフィス 駒澤伸幸<br>(komasawa.nobuyasu@kagawa-u.ac.jp)   | 問い合わせ先：地域医療共育推進オフィス 駒澤伸幸<br>(komasawa.nobuyasu@kagawa-u.ac.jp)   |

## キャリア意識調査/キャリアデザインセミナー

現在の医学教育では、  
生涯教育・キャリアデザイン教育の充実が重視

医学部医学科学生全体に対するWEB調査を実施  
初期臨床研修、後期専門研修、専門医取得以後の  
意識を調査（香川大学医学部倫理委員会承認）

### 第87回医学教育セミナーとワークショップ (WS-1) キャリアデザインシミュレーションを 体験してみませんか！

日時：  
1月18日(木) 13:00～16:00

開催形式：  
Web開催



これから数十年医師として働く中で、生涯学修と  
変化に対応できるスキルを修得する必要性  
→ **キャリアデザインセミナー**を2023年に**3回**実施

2024年1月18日 岐阜大学MEDC  
第87回医学教育セミナーで、  
キャリアデザインワークショップを開催

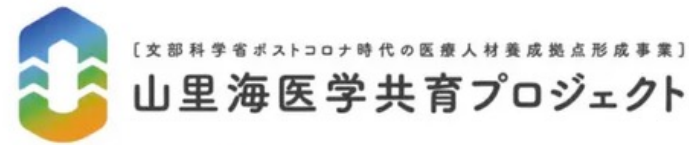




# プログラムごとの事業報告（鳥取大学）







## 2023

### とりだい夏プログラム

#### 救急・災害医療、感染症医療実習

美しい山と海、数々のグルメに満ちた夏の山陰へ集合！



##### 救急・災害医療コース

とりだい病院の救命センターでは、山陰地域の救急を一挙に引き受けています。都市部ではないとりだい病院だからこそ、ここで「まるごと」学べることがあります。



##### 感染症コース

とりだい病院の感染症科では、ゲノムレベルで感染症診療に取り組み、包括的な感染症診療教育を行っています。

#### 実習で学べること



- ・ドクターカー、ドクターヘリへの同乗
- ・多発外傷や熱傷を含む三次救急（患者不在時はHoloLensやVRによる診療体験が可能）
- ・EMARGOトレーニングシステムによる災害医療シミュレーション



- ・微生物検査実習、抗菌薬の適正使用
- ・感染予防策、職業感染対策、感染症サーベイランス、国際感染症対策、感染対策における地域連携
- ・VRによる感染症医療現場体験

対象： 全国の医学部医学科4～6年次学生  
（低学年も相談に乗ります）

実施場所： 鳥取大学医学部附属病院および関連施設

期間： 2023年7月31日～8月25日  
上記のうち、希望に合わせて1日から実習可

## 救急・災害医学／感染症学マスター養成プログラム

### とりだい夏プログラムの実施

2023年7月31日～9月15日の期間に、参加者の希望に合わせたスケジュールで実習受け入れ

プログラム期間中の一部は鳥取大学臨床実習も実施中であり、合同での活動も行った。

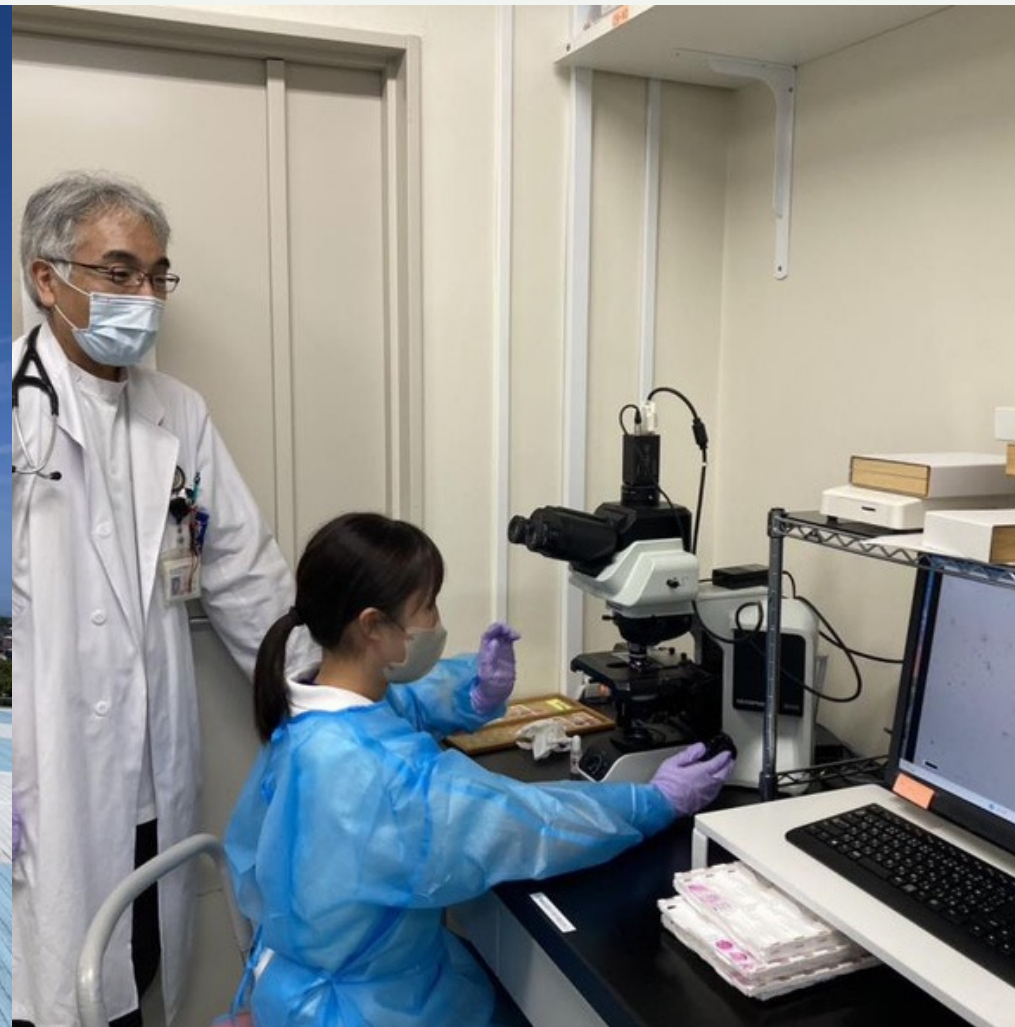
### 計 17 名が参加

|        |    |
|--------|----|
| 岡山大学   | 1名 |
| 香川大学   | 4名 |
| 島根大学   | 6名 |
| 鳥取大学   | 5名 |
| 自治医科大学 | 1名 |

### 実施要項等







## 救急・災害医学／感染症学マスター養成プログラム

### 感想（抜粋）

「他大学で実習できると非常に刺激的であり、  
良い経験になると感じた。」

「鳥取大学の5、6年生と話ができ、  
指導してもらったり、まだ知識が浅く、  
見学していて分からない所を教えてもらい、  
学びが深まった。」

「保健所に実習に行き、  
感染症関連の保健所業務や行政医の働き方について大変興味深く聞かせて頂き、  
自分のキャリアを考える上での  
選択肢の一つとなった。」

実践的な学び、キャリアに関する意識向上  
地域医療に関する認識の変化など











[文部科学省ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業]

## 山里海医学共育プロジェクト

